

2022 年度実施概要

学校名

唐津市立呼子小学校

採択活動名

ふるさと呼子のよさを学ぼう

実施単元

単元名	学年	教科
1. 「呼子のキラリを見つけよう」	3年	総合的な学習の時間、社会科
2. 「呼子の歴史を探ろう」	4年	総合的な学習の時間、社会科、音楽科
3. 「ふるさと呼子の海の環境を守ろう」	5年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

本校では、地域と学校の相互恩恵的関係を目指した学校づくりを行っている。「地域の人・こと・もの」と関わった活動を通して、地域の人々の願いや思いを知り、自分は「地域とつながっている」「地域に支えられている」などを実感させ、「ふるさと＝呼子」を誇りに思う心を育てたいと考えている。また、一人一台端末の積極的な活用を図りながら、学んだことを発信する力の育成も目指している。

そこで、総合的な学習の時間を中心に、他教科とも関連付けながら、3・4・5年生で上記のような実践に取り組んだ。

3年生では、『呼子の町の様子』をキーワードに活動を行った。まず、町探検を実施し、イカ釣り漁船や海産物の干場と販売店の様子、朝市通り商店街の様子、観光客の姿などを見て回った。その後、調べ学習やお魚教室などの体験活動を実施した。分かったことや学んだことは、興味・関心が高かった内容をグループで壁新聞にまとめ、他学年や保護者に発信した。

4年生では、漁業にゆかりがあり、伝統芸能として受け継がれている「ハイヤ節」を学習し歌い継いでいくことにした。また、他にも「骨切り唄」などの労働歌を学ぶことで、呼子の町では捕鯨が盛んだったことを理解させ、呼子とクジラ漁の歴史を探っていった。「鯨組主中尾家屋敷」の見学では、捕鯨が盛んになった理由、捕鯨の仕方、捕鯨後の活用、人々の苦労などをつかませるようにした。学びの発信としては、「ハイヤ節」を地域のお祭りや行事で披露したり、学習して分かったこと感じたことを新聞やパンフレット等にまとめて伝えたりした。

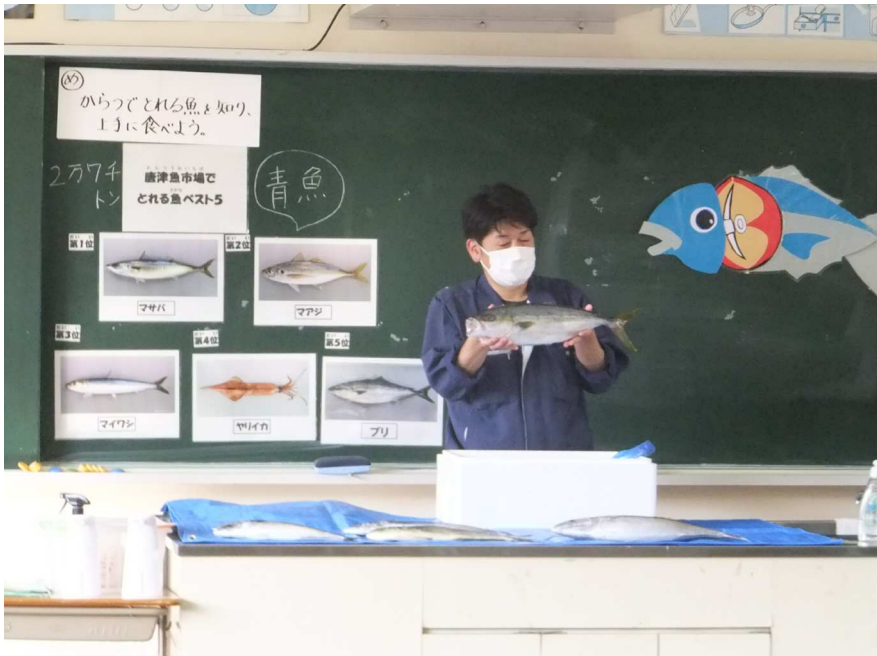
5年生では、キャランビーチの漂着ごみの清掃活動を通して、児童に身近な呼子の海が汚れている現状に目を向け、「呼子の海をきれいにしたい」という思いを持って、海岸の清掃、漂着物の調査を行い、調べたことを整理した。さらに、SDGsについての学習やカサゴの稚魚放流、海洋ゴミについての講話とワークショップなどの取り組みを行った。それらの学習をもとに、自分は呼子の海をどのような海にしたいか、そのためにどのようなことをすればよいかということを考えて、まとめたことを発表する「意見発表会」を行った。



3年_①朝市通り探検1



3年_②朝市通り探検2



3年_③お魚教室講話



3年_④お魚教室三枚おろし



3年_⑤お魚教室・煮魚の食べ方



4年_①呼子くんちにてハイヤ節披露



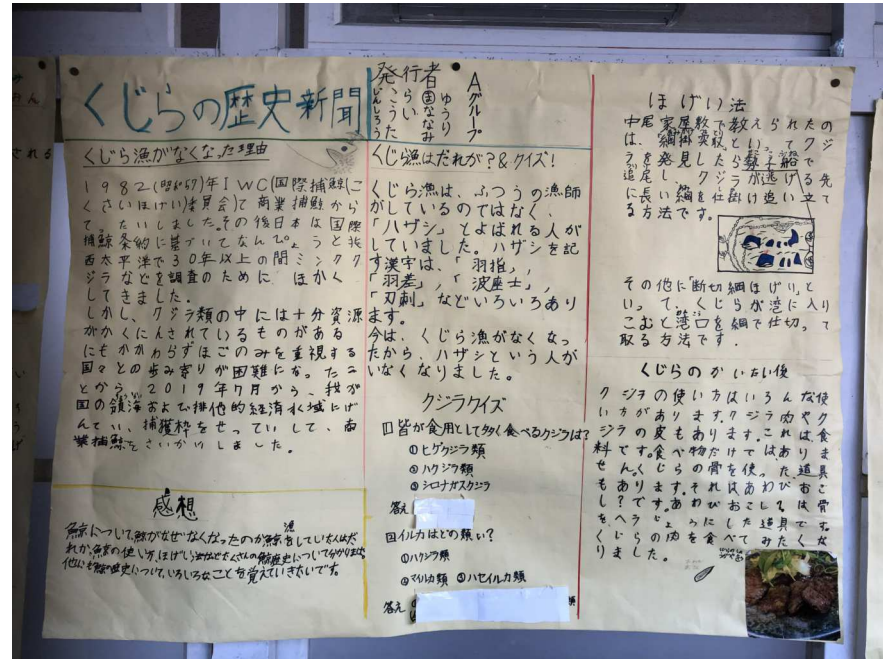
4年_②中尾家屋敷見学1



4年_③中尾家屋敷見学2



4年_④呼子の歴史講話



4年_⑤鯨の歴史新聞



5年_①キャランコビーチ漂流ゴミ清掃



5年_②漂流ゴミの分別



5年_③ペットボトルキャップを使った手裏剣づくり



5年_④海洋ゴミについての講話



5年_⑤「CHANGE FOR THE BLUE」カードゲーム